

新聞雜誌

明治壬申七月

第五十五號

定價二匁



特	別
18	
787	
55	



緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞セサルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキハナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑懼ムク多ク竟ニ我ヲ
 是トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハル辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノ善ヲモ知ラデ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カ多キ世ニ生レシカヒ
 ナシ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始ノ諸府諸縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞マテ見聞ニ隨ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新知ヲ開クノ樂ヲ同シ頑ル心僻ル事ヲ棄ントテナリ 願ハ此世子
 ヲ讀モフ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ公我意外ノ驚愕ヲ
 喜可キ事多ク唯一隅耳ヲ見ル田舎人タルヲ免レヌ夏虫氷ヲ疑ノ笑有リト知
 至ヘサテコノ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルニ負カジト云ヘケレ

新聞雜誌第五十五號 明治五年壬申



○七月十二日 主上橫濱御着艦夫ヨリ瀛車ニテ還幸アラセラレタリ

○同十八日 皇后宮相州宮ノ下ヨリ還御遊ハサレタリ
 ○七月中旬ノ御布告ニ人民實印ノ儀ハ諸事證據ニ相成大切ノ品ニ候處妄ニ他人工相預ケ候者有之候ニ付間々茲詐ノ訴訟相起リ以ノ外ノ事ニ候以來心得盡ノ者有之節ハ預ケ人預リ人共屹度及處置候事
 ○今般府下車稅左ノ通改正相成タリ

馬車二疋立 一ヶ月金二圓八錢四厘同一疋立 同金一圓
四錢二厘 人力車同十三錢四厘 大車、自轉車、日除車同六
錢七厘 牛車同五錢 小車同九厘

○東京近在野菜ノ生立近年ニ稀ナル由ニテ問屋ノ仕
切却テ運賃ニ足ラスト云フ

○頃日府下兩國回向院境内ニ於テ盲人ヲシテ角力或
ハ擊劍ヲナサシメ衆人ノ縱觀ニ供ス其擊劍ノ時ニ當
リ先ツ鼓ヲ鳴ラシ折ヲ擊チ相圖ヲナセハ盲人十餘名
各頭ニ炮器ヲ戴キ土俵ノ上ニ整列シ指揮者號令ヲナ
スニ從ヒ忽チ左右前後無二無三ニ入り乱レ空ヲ攫ン

テ足ヲ引カル、アリ虚ヲ規フテ頭ヲ拂ハル、アリ或
ハ打チ或ハ打タレ倒天地首其形状言語ニ絶セリコレ
所謂世ノ盲人滅法界ナル者乎

○去ル六月六日文部省博物館へ忍入古金類ヲ盜取シ
賊府下ニ於テ捕縛相成タリ右賊ハ高知縣管下醫師壽
元粹吉本琢齋常申ト云ヘル者ナル由

○文部省書籍館ノ公告ニ方今人才教育文化進歩ノ為
メ今般東京湯嶋博物館中ニ於テ書籍館ヲ建設セラレ
從來府庫收藏ノ和漢洋ノ群籍ハ申ニ及ハス其他遺漏
スル所ノ書ハ追々之ヲ館内ニ蒐集シ普ク衆人ノ此處

ニ來テ望ム所ノ書ヲ看讀スルヲ差許ス条各其意ヲ体シ有志ノ輩ハ無憚借覽願出可申事

一天下ノ大ナル也著書隨テ亦多ク今此館ニ備ル所固ヨリ遺漏ナキヲ免レヌ有志ノ輩何書ニ限ラス若欲納シテ其闕ヲ補ヒ兼テ永世ノ不朽ヲ希ノ者ハ東京居住ハ當局ヘ申出其他ハ各管轄ノ地方官廳ヘ可申出事

但納本致度者ハ目錄ヲ以テ卷數等巨細申出追テ差出候節ハ從當方相當ノ運賃可差遣且納本ノ品柄ニ應ニ館中書籍借覽ノ許可票ヲ可相渡事

○七月十五日ノ事ナリシカ築地ニ居留セル或洋人我

國ノ一婦ヲ携ヘ向嶋枕橋ハ百松ト云ヘル酒樓ヘ登リ遊興ノ餘リ淫情ニ堪ヘカ子其家人ノ前ヲモ憚ラス終ニ之ヲ犯セリトガ抑文明開化ノ國ハ裸躰スラ人目ニフル、ヲ恥ト聞シカ斯ル無禮ノ行ヲナセシハ何ソヤ
○横濱ニテハ謾リニ路傍ヘ小便セル者ハ邏卒見咎次第罰金三百銅ヲ出スノ條令ナリシカ或日洋人某遊歩ノ節途中ニテ小便セルヲリ忽チ邏卒ヲ見受ケシニ咎メントスル勢ナレハ洋人早クモ之ヲ覺リ匆卒金一圓ヲ取出シ是ニテツリヲ貫ヒタシト申シケレハ邏卒モ十方ニクレ其儘ニ打スキタル由

○廣嶋縣管下ニテ一種ノ傳染病流行シ十五歳以下死
亡ノ者夥シキ由又米國ニユールクニ於テハ酷暑ニ
中リ毎日死スル者百人余ニ至ルト云亦上海ニテ病者
甚タ多キニツキ洋医其源由ヲ推究セシニ全ク埃溼溝
水等ノ腐敗氣ヨリ起レルヲ知リ當時ハ掃除方嚴重ナ
リシカハ日ヲ追テ病者減少セリトソ

○豊浦旧知事毛利元敏英國留學中旧貫族ニ告諭ノ略
ニ客歳余免職ノ折柄汝等衆士ノ為メニ扶助ノ道ヲ以
テ念トスト雖氏固ヨリ餘リナキノ家計ニテ未タ意ノ
如クナラサルノ際汝等却テ米金ヲ出シ祖宗祭祀ノ費ニ供

セント請フ余深ク之ヲ感納セリ然ルニ頃日舊債償却
ノ算ヲ定ム故ニ今聊カ三十金ヲ分ク汝等ニ與フ顧フ
ニ些少ノ金ヲ以テ許多ノ人ニ給ス以テ用トナスニ足
ラスト雖氏幸ニ子弟學文費用ノ資ニ加ヘヨ柳郡縣ノ
制人々各其力ヲ以テ成立スベキハ勿論ニテ唯修業肝
要タルヘシ其業アル者ハ隨テ其產自由ナルノ理ナリ
各夙ク漢洋各科ノ學ニ就キ道ヲ究ノ才ヲ達シ敬テ其
業ヲ修メヨ是即千我高祖學校ヲ設ケ敬業ト号クル所
以ノ深旨ナリ余不肖ナレ氏微意亦斯ニアリ衆士ソレ
此ヲ勉セヨ

千月佳卷高五帝

○第四十號ニ記載セル山口縣管内長門國赤間関港問
屋商賣ノ者權衡ヲ私スルノ惡弊アルヲ北國屋市兵衛
ナル者是ヲ憂ヒ秤會所ヲ建出入ノ物只ヲ掛改メ公平
ノ商賣ヲ為サシメントノ企アリト其事果シテ實ナレ
ハ市兵衛カ企一理ナキニアラガレ元來關地ニ於テ
度量ヲ私スル杯ノ奸ハ未タナシト覺エタリ其證ハ関
地ニ北國屋市兵衛ナル者ナシ去レ共以前北國屋某ノ
手代ニテ市工門ナル者奉公中商ヒ物取扱ニ付量目其
他不正ヲ圖リシ故前キニ北國屋ヲ放逐セラレタリ恐
ラクハ北國屋市兵衛ハ此市工門ノ事ニテ關地問屋ニ

權衡ヲ私スルノ弊アリト云シハ市工門ガ口ニ出テ其
歸スル所ハ秤會所ヲ取建私利ヲ得ント欲スルノ奸謀
ナリト聞エタリ同所ノ者此条ヲ閱シテ市工門ヲ惡ガ
ル者ナシ其甚シキニ至テハ抑シテ海ニ没入セントス
ルノ勢ニ及リ此趣キ早ク縣官ニ聞ヘテ事止ヌ抑度量
衡ハ國家治具ノ要タルニ度量ニ各種アリ又權衡ノ制
作密ナラサルヨリ市工門ノ如キ奸策ヲ廻ラシ或ハ權
衡ヲ私スル惡弊ノ生フル憂ナシト云ヘカラス因テ度
量衡ヲ改制シ其規則ヲ建ル一日モ忽ニスヘカラス
ト同縣官負ヨリ我カ新聞ニ記載センヲ請ヘリ

○本願寺派僧說教官某長崎ニ於テ所謂従前ノ御講刺ナルモノヲ執行シテ若子ノ金ヲ取集メシニ付縣廳ヨリ官吏ヲシテ之ヲ詰ラシナテ曰ク教部省ヨリ當縣ヘ達シニハ教官ヲシテ三条ノ御趣意ヲ説カシムト而已義リシニ如何ノ譯ナルヤ 勅許ノ宣紙ニモ所持イタサル、ヤト談判ニ及ヒニ處某終ニ閉口セリトゾ其妄誕衆ヲ惑ハシ私利ヲ營ナムノ罪最モ惡ムベキコトニ非ズヤ

○府下小日向大曲内藤邸内竹ノ藪ニ雀數千羽集ワリ鬭争シテ日々死傷數十羽ニ及ヘリト近時ノ一奇性也

○郵便ニテ金子ヲ送ルノ成ラサルハ甚タ不自由ナルニ似タレ氏郵便ニハ率領モナク晝夜兼行スル者ナレハ若シ盜賊ノ患アルハ唯其金子ヲ失フノミナラス他ノ書状マテモ公私ノ不都合ヲ生スベシ故ニ西洋各國ニテモ總テ郵便ニテ金子ヲ送送スルノナシ尤彼ノ國ニテハ金子ヲ送送スルハ為替會社ノ業ナレ氏五十圓位ヨリ以下ノ小金ハ其為替會社ニテ取扱ハサル故ニ郵便役所ニテ郵便為替ト云フモノヲ開キ通貨ヲ送ルノ代リニ之ヲ用ユ吾國ニテモ既ニ其法ヲ開カント商議アリタル由ナレ氏各地ノ郵便ヲ取扱フモノ月

々人足継立貨錢郵便切手ノ賣下代錢ヲ勘定表ニ組込
ムテ取扱フハナルマシトテ警ラク見合セニナリタ
リトゾ抑郵便ハ内外便利ノ為メ開カレタルナレハ
假令西洋ニテ郵便規則ニナキ事ナリ我人民便利ノ
件々ハ直チニ取行ハル、等ナレハ金子入書状モ追々
遷送スヘキ別法ヲ開カル、由

○正月三日同七日同十五日十六日三月三日五月五日
七月七日同十五日十六日九月九日及 天朝節ハ郵便
休暇ノ規則ニ候處以來毎歲元旦一日ヲ休暇ト定メラ

ルノ旨大藏省ヨリ達シ相ナリタリ

○西京新聞紙ニ云電信機ノ發明者アリ
ハ千八百七十二年四月二日 我明治五年也
クニ於テ死去セル由

○近頃暹羅國王ノ鐘愛セル鑽石、金器、寶石、ノ三品賤ノ
為ニ竊マレタリ三品ハ王所佩ノ劍ニ属シ他人ノ撰リ
ニ近ツクベキ物ニアラサレハ之カ為ニ公主四人侍婢
二人嫌疑ヲウケ嚴シク糾弾セラレ公主ハ各マツ答九
十侍婢ハ直ニ曲刑ニ處セラレタリ彼國律總テ御物ヲ
竊ム者ハ貴賤男女ヲ問ハス地ニ平伏セシメ木杖ヲ以

テ其頭ヲ撃テ之ヲ殺シ布袋ニ入レ海中ニ棄ツルト公
主四人モ終ニ此慘死ヲ免カレ難シト云其國法ノ苛刻
ナル其處刑ノ殘忍ナル恤ム可キ事ナラスヤ

○支那政廳ニ於テ李鴻章專ラ心ヲ治教武備ニ用ヒ此
頃又十五歳以下ノ學生三十人ヲ選ヒ七月初旬ヨリ米
利堅ニ遣ハシ語言文字及ヒ各般ノ技藝ヲ學ハシメ其
路金學費等モ總テ官ヨリ之ヲ辦シ又新タニ數千金ヲ
以テ為メニ洋服ヲ製シ之ヲ與フル由學生多クハ廣東
ノ子弟ナリト云

新聞雜誌第五十五號 終

報告

○筆算代微積拾級譯解

理軒福田先生閱註
治軒福田先生譯解

此書ハ天文究理兩學ノ教頭墨利堅「ロフォーミユス」氏
ノ著述「エナリチカルゼ」ヲメトリト號ス千八百七
十一年出版ノ原書十八卷ヲ譯シ英人「イレアリ」氏ノ
上海譯本代微積拾級ト比較シ異同ヲ辨シ詳註ヲ加
ヘ代數微分積分ノ原理ヲ了解シ附録ニ卷中答式ノ
解術ヲ著ハス有志ノ人此書ニ就テ研究セハ筆算ノ
蘊奧日ヲ期シテ自得スベシ

賣弘所
東京神田明神下 萬青堂 嶋屋平七

○方今 必用 漢和 業文 瀨尾 隨波 著

全一冊

此書ハ漢語俗文二体ノ用文章ニシテ頭書ヘ類語ヲ
上ケ卷末ニ商賣取引ノ文ヲ掲^カク真ニ方今有用必携
ノ書ナリ四方ノ君子發兌ノ日ヲ俟^マテ高覽アラント
ヲ冀フ

東京書林
賣弘人

文苑閣
又新堂

日本橋通十軒店
同 四日市
鈴木喜右衛門
石垣 新 助

撰者伏テ四方ノ君子ニ告^ケテ奉ル本局既ニ 官許ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス
其旨意ハ前ニ述ル所ノ如シ但奇事異聞耳目ノ及バザル處多シ願クハ同好ノ人
何事ニヨラス其處々ノ新聞ヲ書集メ本局及ビ下ニ列スル賣弘處ニ寄セ玉
ハ次第ニ刊行發兌スベシ但寄玉フ書付ニ其住處姓名ヲ必ズ載セ玉フ
可シ無名ノ書ハ敢テ采入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ルナリ

一切賣買ノ弘^ス等望ニヨツテ出版スル事件

- 一 田地山林家屋舟車等ノ賣買貸借
- 一 產物器具食品藥劑等一切ノ賣買
- 一 諸船ノ入湊出帆積荷ノ物件等
- 一 店ヒラキ新規賣出等ノ引札
- 一 右等何レモ一行廿三字一度出板價三匁宛同事件ニ度分ハ五匁五分
- 一 觀セモノ集會等ノ引札
- 一 失物尋物等
- 一 金銀其外ノ貸借等
- 一 新發明巧器及書籍等ノ賣買

ニテ御引受^スニ候

新聞雜誌定價一號銀二匁 每週出版

當時發兌號ヨリ先々二十冊分引受候向ハ定價ヨリ三割引
同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約定前金受取候上ハ毎號發兌順序ヲ逐ヒ本局ヨリ御届致
候又遠方取次賣弘方望シ人ハ本局へ御引合上御相談可申候

本局

東京兩國若松町
日新堂

東京兩國横山町三丁目

和泉屋金右門

東京芝三島町

和泉屋市兵衛

大塚齋橋通

河内屋吉兵衛

西京東洞院三條七丁目

村上勘兵衛

東京日本橋區芝町

須原屋茂兵衛

大塚心齋橋通

河内屋喜兵衛

大塚心齋橋通

河内屋清七

東京日本橋區釘店

和泉屋仕造

賣弘所

